(第1面)

産業廃棄物処理計画書

令和 7年 6月 30日

神戸市長 殿

提出者

住所 東京都千代田区内幸町二丁目2番3号

氏名 J F E エンジニアリング株式会社 代表取締役社長 福田 一美

(法人にあっては、名称及び代表者の氏名)

電話番号 045-505-7703 (担当部署)

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他 その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事	業	場	0)	名	称	J F E エンジニアリング株式会社 (神奈川県横浜市鶴見区末広町二丁目1番地
事	業	場の	所	在	地	兵庫県神戸市 管轄内建設工事 (工事現場:神戸市 WJ4298_兵 神戸市垂水区海岸通12-5ガス配管工事 他23件)
計		画	期		間	令和7年4月1日~令和8年3月31日
当該	核事業	場には	おいて	現に	行。	っている事業に関する事項
	①事	業の種	種類			0611 一般土木建設工事業
	②事	業の規	見模			売上高 5,698億円(令和6年度)
	3従	業員数	¢			3,646人(令和6年度)
		業廃棄理のコ		一連		別紙のとおり

産弟	芝廃棄物の処理に係る	る管理体制に関する事項	,							
	(管理体制図)									
	別紙のとおり									
産業	・ 美廃棄物の排出の抑制 ・	訓に関する事項								
,,	【前年度(令和 6年度)実績】									
			./ 天順】							
		産業廃棄物の種類								
		排出量		t		t				
	①現状	(これまでに実施した取	組)							
	① 先	別紙のとおり								
		【目標】								
		産業廃棄物の種類								
		排出量		t		t				
	②計画	(今後実施する予定の取	組)							
		別紙のとおり								
李戈	 	 								
压力	民族来物の方がに関	(分別している産業廃棄	物の種類及び分別に	- 関寸	- ろ 取組)					
		別紙のとおり	例が発展及し分別に	-151 /						
	() TH. ()									
	①現状									
		(今後分別する予定の産業	産廃棄物の種類及び	分別り	に関する取組)					
		別紙のとおり								
	②計画									
	l	1								

自ら	行う産業廃棄物の再	写生利用に関する事項		
		【前年度(令和 6年度	E) 実績】	
		産業廃棄物の種類		
		自ら再生利用を行った 産業廃棄物の量	t	t
	①現状	(これまでに実施した取 自ら再生利用は行ってい		
		【目標】		
		産業廃棄物の種類		
		自ら再生利用を行う 産業廃棄物の量	t	t
	②計画	(今後実施する予定の取		
		今後も自ら再生利用する	予定はない	
占占	行る主要成変物の日	毎眼知知に関わて東西		
日り	117座耒廃栗物の	中間処理に関する事項 【前年度(令和 6 年度	E)実績】	
		産業廃棄物の種類		
		自ら熱回収を行った 産業廃棄物の量	t	t
	①現状	自ら中間処理により減量した 産業廃棄物の量	t	t
		(これまでに実施した取		
		自ら中間処理は行ってい	ない	
-				
		【目標】		Ī
		産業廃棄物の種類		
		自ら熱回収を行う 産業廃棄物の量	t	t
	②計画	自ら中間処理により減量する 産業廃棄物の量	t	t
		(今後実施する予定の取	(組)	
		今後も自ら中間処理する	予定はない	

自	自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項						
		【前年度(令和 6年度)実績】				
		産業廃棄物の種類					
		自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行った 産業廃棄物の量		t		t	
	①現状	(これまでに実施した取) 自ら埋立処分又は海洋投		いない			
		【目標】					
		産業廃棄物の種類					
		自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行う 産業廃棄物の量		t		t	
	②計画	(今後実施する予定の取) 今後も自ら埋立処分又は		5 予定はな 	: (1)		
産業	業廃棄物の処理の委託	光に関する事項					
		【前年度(令和 6年度) 実績】	<u> </u>			
		産業廃棄物の種類					
		全処理委託量		t		t	
		優良認定処理業者への 処理委託量		t		t	
		再生利用業者への 処理委託量		t		t	
	①現状	認定熱回収業者への 処理委託量		t		t	
		認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量		t		t	
		(これまでに実施した取)別紙のとおり	組)				

(第5面)

	(知り)	ш,		
	【目標】			
	産業廃棄物の種類			
	全処理委託量		t	 t
	優良認定処理業者への 処理委託量		t	 t
	再生利用業者への 処理委託量		t	 t
	認定熱回収業者への 処理委託量		t	 t
②計画	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量		t	 t
	(今後実施する予定の取約 別紙のとおり	且)		
<u> </u>				

備考

- 1 前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。
- 2 当該年度の6月30日までに提出すること。
- 3 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
 - (1) ①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
- (2) ②欄には、製造業の場合における製造品出荷額(前年度実績)、建設業の場合における元請完成工事高(前年度実績)、医療機関の場合における病床数(前年度末時点)等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
- (3) ④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程(当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。)を記入すること。
- 4 「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
- 5 「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者(廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者)への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者(廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者)である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
- 6 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「一」を記入すること。
 - 7 ※欄は記入しないこと。

(7)燃え破 売年・収集運搬 → 溶離同化 → 原金4・セスト4科 → 原五 → 原五 → 原五 ・ 原五 → 原五 ・ 原五 → 原五 → 原五	産業廃棄物の一連	の処理の工程	
(3)底 加 ※ (2)		,	
②汚 混 発生・収集運搬 → 風水 → 政機・破砕 → 再生・路盤材 → 理立(管理型) ③)廃 油 ※ (登)		⇒溶融固化	⇒路盤材・セメント材料
②方 泥 第在・収集運搬 ⇒ 配水 ⇒ 産婦・破砕 ⇒ 再生 1・路盤材 ⇒ 用生 1・路盤材 ⇒ 原理 ⇒ 原		⇒焼却	⇒ 埋立(管理型)
 発生・収集運搬 → 蔵水分離・混入物除 → 理立(管理型) ③魔 油 発生・収集運搬 → 蔵水分離・混入物除 → 再生化処理 → 製品 → 歴水 → 歴水 → 形形 → を要素 → セメント原料 → 軽燥 → 中和心理残渣 → 焼却 → 理立(管理型) ⑤磨ブラスチック類		⇒埋立(管理型)	
 発生・収集運搬 → 蔵水分離・混入物除 → 理立(管理型) ③魔 油 発生・収集運搬 → 蔵水分離・混入物除 → 再生化処理 → 製品 → 歴水 → 歴水 → 形形 → を要素 → セメント原料 → 軽燥 → 中和心理残渣 → 焼却 → 理立(管理型) ⑤磨ブラスチック類			
(3)廃 油 発生・収集運搬 → 地域力 (4) 庭酸・廃アルカリ ※生・収集運搬 → 一		脱水	⇒ 乾燥・破砕 ⇒ 再生土・路盤材
 発生・収集運搬 ⇒ 施水分離 淀入物除 ⇒ 再生油 ⇒ 佐却 ①廃酸・廃アルカリ 成分分析調査 ⇒ 歴水 ⇒ 形成 ⇒ 下汚泥 ⇒ セメント原料 ⇒ 歴機 ⇒ セメント原料 ⇒ 歴機 ⇒ セメント原料 ⇒ 歴水 ⇒ 万泥 ⇒ 理立(管理型) ③魔ブラスチック類 発生・収集運搬 ⇒ 成砕 ⇒ 圧縮・成型 ⇒ 尺PF ⇒ 焼却 ⇒ 理立(管理型) ⑥紙くず 発生・収集運搬 ⇒ 破砕・運搬 ⇒ 歴報・契紙原料 ⇒ 歴報 ⇒ 歴報 ⇒ 理立(管理型) ⑥紙くず 発生・収集運搬 ⇒ 破砕・選別 ⇒ アンア化 ⇒ 合板・燃料 ⇒ 焼却 ⇒ 理立(管理型) ③繊維くず 発生・収集運搬 ⇒ 破砕・切断 ⇒ 西利用 ⇒ 焼却 ⇒ 理立(管理型) ⑤繊維くず 発生・収集運搬 ⇒ 破砕・切断 ⇒ 西利用 ⇒ 焼却 ⇒ 理立(管理型) ⑤ 数繊維くず 発生・収集運搬 ⇒ 破砕・切断 ⇒ 西利用 ⇒ 焼却 ⇒ 理立(管理型) 		\Rightarrow	⇒ 埋立(管理型)
 発生・収集運搬 ⇒ 施水分離 淀入物除 ⇒ 再生油 ⇒ 佐却 ①廃酸・廃アルカリ 成分分析調査 ⇒ 歴水 ⇒ 形成 ⇒ 下汚泥 ⇒ セメント原料 ⇒ 歴機 ⇒ セメント原料 ⇒ 歴機 ⇒ セメント原料 ⇒ 歴水 ⇒ 万泥 ⇒ 理立(管理型) ③魔ブラスチック類 発生・収集運搬 ⇒ 成砕 ⇒ 圧縮・成型 ⇒ 尺PF ⇒ 焼却 ⇒ 理立(管理型) ⑥紙くず 発生・収集運搬 ⇒ 破砕・運搬 ⇒ 歴報・契紙原料 ⇒ 歴報 ⇒ 歴報 ⇒ 理立(管理型) ⑥紙くず 発生・収集運搬 ⇒ 破砕・選別 ⇒ アンア化 ⇒ 合板・燃料 ⇒ 焼却 ⇒ 理立(管理型) ③繊維くず 発生・収集運搬 ⇒ 破砕・切断 ⇒ 西利用 ⇒ 焼却 ⇒ 理立(管理型) ⑤繊維くず 発生・収集運搬 ⇒ 破砕・切断 ⇒ 西利用 ⇒ 焼却 ⇒ 理立(管理型) ⑤ 数繊維くず 発生・収集運搬 ⇒ 破砕・切断 ⇒ 西利用 ⇒ 焼却 ⇒ 理立(管理型) 			.) ———————————————————————————————————
①廃酸・廃アルカリ 発生・収集連搬	(3) <u>発</u> 油 発生•収集運搬	⇒ 油水分離·混入物除	⇒再生油
①廃酸・廃アルカリ 発生・収集連搬		⇒焼却	
 発生・収集運搬			
→ 蔵燥 → セメント原料 → 脱水 → 汚泥 → 埋立(管理型) 中和・イオン交換 → 放流・蒸発 → 中和処理残渣 → 廃却 → 埋立(管理型) ③廃プラスチック類 発生・収集運搬 → 破砕 → 埋立(管理型) ④紙くず			⇒ 再生化処理 ⇒ 製品
→			→ 脱水 → 汚泥 → ヤヤント 原料
→ 脱水 →		\Rightarrow	
中和・イオン交換 → 放流・蒸発 → 中和処理残渣 → 焼却 → 理立(管理型) ③廃プラスチック類 ※ 破砕 → 圧縮・成型 → RPF → 焼却 → 埋立(管理型) ③縦くず ※ 発生・収集運搬 → 破砕・圧縮固化・溶融 → 燃料 → 大・収集運搬 → 破砕・選別 → チップ化 → 合板・燃料 → 焼却 → 埋立(管理型) ③繊維くず ※ 発生・収集運搬 → 破砕・切断 → 再利用 → 焼却 → 埋立(管理型) ③繊維くず ※ 全・収集運搬 → 破砕・切断 → 再利用 → 焼却 → 埋立(管理型) ⑤ ボムくず ※ 対応・対応 → 関連の → 単立(管理型)			→【札架 →【セメント原料
⇒ 中和処理残渣 → 焼却 → 埋立(管理型) ③廃プラスチック類 発生・収集運搬 → 破砕 → 圧縮・成型 → RPF → 焼却 → 埋立(管理型) → 連立(安定型) ⑥紙くず			⇒ 脱水 ⇒ 汚泥 ⇒ 埋立(管理型)
			⇒放流・蒸発
 発生・収集運搬 → 破砕 → 圧縮・成型 → 用利用 → 焼却 → 使却 → 破砕・切断 → 埋立(管理型) ③紙(まず) 発生・収集運搬 → 破砕・選別 → チップ化 → 合板・燃料 → 焼却 → 埋立(管理型) ③繊維くず 発生・収集運搬 → 破砕・切断 → 再利用 → 焼却 → 埋立(管理型) ③数維化くず ・ 収集運搬 → 破砕・切断 → 再利用 → 焼却 → 埋立(管理型)] ⇒	→ 中和処理残渣 → 焼却 → 埋立(管理型)
 発生・収集運搬 → 破砕 → 圧縮・成型 → 用利用 → 焼却 → 使却 → 破砕・切断 → 埋立(管理型) ③紙(まず) 発生・収集運搬 → 破砕・選別 → チップ化 → 合板・燃料 → 焼却 → 埋立(管理型) ③繊維くず 発生・収集運搬 → 破砕・切断 → 再利用 → 焼却 → 埋立(管理型) ③数維化くず ・ 収集運搬 → 破砕・切断 → 再利用 → 焼却 → 埋立(管理型) 	の床プニッチ	→ ₩ 	
(⑥紙くず 発生・収集運搬 → 破砕・圧縮固化・溶融 → 燃料・製紙原料 → 焼却 → 埋立(管理型) (⑦木くず ※ 生・収集運搬 → 破砕・選別 → チップ化 → 合板・燃料 → 焼却 → 埋立(管理型) (⑧繊維くず ※ 発生・収集運搬 → 破砕・切断 → 再利用 → 焼却 → 埋立(管理型) (⑨ゴムくず			⇒ 圧縮·成型 ⇒ RPF
(⑥紙くず 発生・収集運搬 → 破砕・圧縮固化・溶融 → 燃料・製紙原料 → 焼却 → 埋立(管理型) (⑦木くず ※ 発生・収集運搬 → 破砕・選別 → チップ化 → 合板・燃料 → 焼却 → 埋立(管理型) (⑧繊維くず ※ 発生・収集運搬 → 破砕・切断 → 再利用 → 焼却 → 埋立(管理型) (⑨ゴムくず ・ 収集運搬 → 地位でで理型)		⇒焼却	⇒ 埋立(管理型)
 ⑥紙くず 発生・収集運搬 ⇒ 破砕・圧縮固化・溶融 ⇒ 燃料・製紙原料 ⇒ 焼却 ⇒ 母立(管理型) ③繊維くず 発生・収集運搬 ⇒ 破砕・切断 ⇒ 大ップ化 ⇒ 合板・燃料 ● 大ップ化 ⇒ 合板・燃料 ● 大ップ化 ⇒ 一月 ● 大ップ化 ● 大・火車型 ● 中利用 ● 大ップと ● 中利用 ● 大ップムくず ● 中利用 ● 大ップと ● 中利用 ● 大ップムくず 			
 発生・収集運搬 ⇒ 破砕・圧縮固化・溶融 ⇒ 燃料・製紙原料 ⇒ 焼却 ⇒ 埋立(管理型) ⑦木くず	<u> </u>	一	
→ 焼却 → 埋立(管理型) ⑦木くず 発生・収集運搬 → 破砕・選別 → チップ化 → 合板・燃料 ⇒ 焼却 → 埋立(管理型) ③繊維くず 発生・収集運搬 → 破砕・切断 → 再利用 → 焼却 → 埋立(管理型) ⑨ゴムくず		→	→
⑦木くず 発生・収集運搬 ⇒ 破砕・選別 ⇒ 左ップ化 ⇒ 合板・燃料 ⇒ 焼却 ⇒ 埋立(管理型) ③繊維くず 発生・収集運搬 ⇒ 破砕・切断 ⇒ 再利用 ⇒ 焼却 ⇒ 煙立(管理型)	光生、収条建脈		
発生・収集運搬 ⇒ 破砕・選別 ⇒ 手ップ化 ⇒ 合板・燃料 ⇒ 焼却 ⇒ 埋立(管理型) ⑧繊維くず ※ ※ 再利用 ※生・収集運搬 ⇒ 破砕・切断 ⇒ 埋立(管理型) ⑨ゴムくず ⇒ 埋立(管理型)		→ 焼却	⇒ 埋立(管理型)
発生・収集運搬 ⇒ 破砕・選別 ⇒ 手ップ化 ⇒ 合板・燃料 ⇒ 焼却 ⇒ 埋立(管理型) ⑧繊維くず ※ ※ 再利用 ※生・収集運搬 ⇒ 破砕・切断 ⇒ 埋立(管理型) ⑨ゴムくず ⇒ 埋立(管理型)	<u>⑦木</u> くず		
 ● 埋立(管理型) ⑧繊維 発生・収集運搬 → 破砕・切断 → 規却 → 埋立(管理型) ⑨ゴム<ず	発生•収集運搬	→ 破砕・選別	⇒ チップ化 ⇒ 合板・燃料
⑧繊維くず発生・収集運搬 → 破砕・切断 → 再利用9ゴムくず⑨ゴムくず		⇒焼却	⇒埋立(管理型)
発生・収集運搬 → 破砕・切断 → 再利用 → 焼却 → 埋立(管理型) ⑨ゴムくず		⇒ 埋立(管理型)	
発生・収集運搬 → 破砕・切断 → 再利用 → 焼却 → 埋立(管理型) ⑨ゴムくず	○◇井◇サキン→☆		
⑨ゴムくず		→ 破砕・切断	⇒再利用
⑨ゴムくず		⇒焼却	⇒埋立(管理型)
			· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·
	0 . ,	→ 破砕	⇒原料
⇒ 焼却 ⇒ 埋立		⇒焼却	⇒埋立

①3コンクリートがら、アスコンがら、その他がれき類発生・収集運搬 → 破砕・選別 → 骨材・砕石サ埋立(安定型)

④ばいじん発生・収集運搬 ⇒ 溶融固化/固化剤処理 ⇒ 路盤材・セメント材料⇒ コンクリート固化 ⇒ 埋立(管理型)⇒ 埋立(管理型)

⑤建設混合廃棄物発生・収集運搬 ⇒ 手選別 ⇒ 集積 ⇒ リサイクル⇒ 焼却 ⇒ 埋立(管理型) ⇒ 埋立(管理型)

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項 社 長 環境担当役員 安全環境部長 環境グループ マネージャー ・多量排出者などの報告 全社EMS 法令順守状況の監査 管理責任者 ・廃掃法の教育実施 ・巡視手順の教育実施 リサイクル率などの集計 各現地所長 各本部長 各部署長 各プロジェクト マネージャー ・リサイクルプログラム策定 ・産廃処理状況の巡視 ・産廃処理委託の管理 各本部EMS •作業員を指導 管理責任者 ・委託状況の報告 ・プロマネや現地所長の指導 リサイクル率などの集計

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状

<u> </u>		1. 7/			
	【前年度(令和6年度)実績】			
	産業廃棄物の種類	①燃え殻	②汚泥	③廃油	④a廃酸
	排出量	0.00 t	73.00 t	1.61 t	0.00 t
	産業廃棄物の種類	④b廃アルカリ	⑤廃プラスチック類	⑥紙くず	⑦木くず
	排出量	0.80 t	17.57 t	0.00 t	0.67 t
	産業廃棄物の種類	⑧繊維くず	⑨ゴムくず	⑩金属くず	⑪ガラス陶磁器くず
	排出量	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t
	産業廃棄物の種類	120鉱さい	⑬がれき類	④ばいじん	⑤建設混合廃棄物
	排出量	0.00 t	881.90 t	0.00 t	48.78 t

(これまでに実施した取組)

- 1) 設計段階におけるプレハブ化、レイアウトのコンパクト化、構造の簡素化、造成面積の最小化実力発注などにより、工事現場での産業廃棄物の発生を抑制する。
- 2) 鋼製足場の利用などにより、仮設材を再利用する。
- 3) 搬入資機材などの無梱包、実寸梱包、梱包材持帰りなどにより、梱包材の排出を抑制する。
- 4) 有価物の選別を適切に行い、産業廃棄物としての委託量を削減する。

2 【目標】 計 産業廃棄物の種類 ①燃え殻 ②汚泥 ③廃油 ④a廃酸 73.00 t 0.00 t 画 排出量 0.00 t1.61 t 産業廃棄物の種類 ④b廃アルカリ ⑤廃プラスチック類 ⑥紙くず 排出量 0.80 t17.57 t 0.00 t 0.67 産業廃棄物の種類 (9)ゴムくず 10金属くず ①ガラス陶磁器くず ⑧繊維くず 0.00 t0.00 t0.00 t排出量 0.00 t産業廃棄物の種類 120鉱さい ③がれき類 ④ばいじん 15建設混合廃棄物 排出量 881.90 t 0.00 t48.78 t 0.00 t

(今後実施する予定の取組)

1) これまでの取組を継続・改善する。

産業廃棄物の分別に関する事項

- ① 【(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組)
- 現 ・分別している産業廃棄物の種類
- 状 1) 廃プラスチック類、紙くず、木くず、金属くず、がれき類、建設混合廃棄物など
 - ・産業廃棄物の分別に関する取組
 - 1) 産業廃棄物の分別を確実にするために、工事規模や設置スペースに応じて複数の分別容器を設置している。
 - 2) 分別容器には産業廃棄物の種類を明示し、分別の徹底を図っている。
 - 3) 入業時教育において、分別手順について指導している。
 - 4) 環境パトロールにおいて、産業廃棄物の分別状況を確認している。

② (今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組)

· 1) これまでの取組を継続・改善する。

計画

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

【前年度(令和6年度)実績】				
産業廃棄物の種類	①燃え殻	②汚泥	③廃油	④a廃酸
全処理委託量	0.00 t	73.00 t	1.61 t	0.00 t
優良認定処理業者への処理委託量	0.00 t	51.90 t	1.61 t	0.00 t
再生利用業者への処理委託量	0.00 t	72.64 t	1.59 t	0.00 t
認定熱回収業者への処理委託量	0.00 t	0.00 t	1.61 t	0.00 t
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t
産業廃棄物の種類	④b廃アルカリ	⑤廃プラスチック類	⑥紙くず	⑦木くず
全処理委託量	0.80 t	17.57 t	0.00 t	0.67 t
優良認定処理業者への処理委託量	0.00 t	2.17 t	0.00 t	0.00 t
再生利用業者への処理委託量	0.72 t	7.70 t	0.00 t	0.64 t
認定熱回収業者への処理委託量	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.67 t
産業廃棄物の種類	⑧繊維くず	⑨ゴムくず	⑩金属くず	⑪ガラス陶磁器くず
全処理委託量	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t
優良認定処理業者への処理委託量	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t
再生利用業者への処理委託量	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t
認定熱回収業者への処理委託量	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t
産業廃棄物の種類	⑩鉱さい	③がれき類	倒ばいじん	⑤混合廃棄物
全処理委託量	0.00 t	881.90 t	0.00 t	48.78 t
優良認定処理業者への処理委託量	0.00 t	17.69 t	0.00 t	3.13 t
再生利用業者への処理委託量	0.00 t	881.11 t	0.00 t	41.30 t
認定熱回収業者への処理委託量	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t

(これまでに実施した取組)

- 1) リサイクル実績がある廃棄物処理業者を起用する。
- 2) 現地所長に対するアンケート調査により、廃棄物処理業者の評価を実施し、その情報を社内で公開している。

\sim	
計	
画	

①現状

【目標】				
産業廃棄物の種類	①燃え殻	②汚泥	③廃油	④a廃酸
全処理委託量	0.00 t	73.00 t	1.61 t	0.00 t
優良認定処理業者への処理委託量	0.00 t	51.90 t	1.61 t	0.00 t
再生利用業者への処理委託量	0.00 t	72.64 t	1.59 t	0.00 t
認定熱回収業者への処理委託量	0.00 t	0.00 t	1.61 t	0.00 t
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託	₫ 0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t
産業廃棄物の種類	④b廃アルカリ	⑤廃プラスチック類	⑥紙くず	⑦木くず
全処理委託量	0.80 t	17.57 t	0.00 t	0.67 t
優良認定処理業者への処理委託量	0.00 t	2.17 t	0.00 t	0.00 t
再生利用業者への処理委託量	0.72 t	7.70 t	0.00 t	0.64 t
認定熱回収業者への処理委託量	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託	₫ 0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.67 t
産業廃棄物の種類	⑧繊維くず	⑨ゴムくず	⑩金属くず	⑪ガラス陶磁器くす
全処理委託量	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t
優良認定処理業者への処理委託量	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t
再生利用業者への処理委託量	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t
認定熱回収業者への処理委託量	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託	d 0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t
産業廃棄物の種類	⑩鉱さい	⑬がれき類	④ばいじん	15混合廃棄物
全処理委託量	0.00 t	881.90 t	0.00 t	48.78 t
優良認定処理業者への処理委託量	0.00 t	17.69 t	0.00 t	3.13 t
再生利用業者への処理委託量	0.00 t	881.11 t	0.00 t	41.30 t
認定熱回収業者への処理委託量	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託	₫ 0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t
(人後事先子7ヱウの毎知)	•		•	

(今後実施する予定の取組)

1) これまでの取組を継続・改善する。